

令和 3 年度
社会福祉法人さざんか会
法人本部事業報告

2021(令和3)年度社会福祉法人さざんか会事業報告

1.重点項目について

① 新型コロナウイルス感染症への対応

当地においても、再度『まん延防止等重点措置』と指定され日々の行動に制約や不便さが伴うことも多くあり、前年同様感染防止への対応は厳重を期す。そのような渦中「のまる」に於いて2022年2月末から3月上旬にかけて散発的に利用者16名及び職員10名が感染、クラスターと判断された。もちろん、感染防止には最大努めていたのであるが、このような結果となってしまった。幸い、重症化した人はおらず事なきを得たのであるが、この感染症の猛威を再度思い知らされた次第であった。

高齢者福祉施設に限らず障害福祉施設においても、そして児童福祉施設においても全国的に感染が拡大しているのであり、引き続き厳重に対処していきたい。この他、ご家族の感染による濃厚接触やその疑い等から、施設を自主的に休園措置とした場合もあり、状況に応じて柔軟に対応しなければならない。

どの事業所に於いても、事業計画が万遍なく実行されるに越したことはないが、あくまで無理のない範囲での活動を心掛けたい。

② 経済的運営基盤の確立

新型コロナ流行下において、厳しい目標になるが決算作業を見通した時、各事業所に於いて差異は当然生じるが、全体で積立資産を約109,000千円計上できたことは特筆しても宜しいか。

日々、厳しい環境下ではあるがこの事態は継続するのであり、使用できるシステムは最大利用しながら、収支のバランスを良好に維持して行きたい。

③ 人材の確保と育成

毎年、事業を営むに必要な職員数は確保できているが、更に多少の余裕をもって事業を営むには厳しい状況が続く。職員募集及び採用には人材関係事業所の紹介や斡旋等で多額を用意しなければならず、大きな負担が伴う。社会全体にこの傾向は顕著であり、止むを得ないようである。

職員各位には、この仕事に『遣り甲斐や誇り』をもって長く続けて頂くために、その為の方策を整えて行きたい。また、今までも努めてきたが、法人としての発信力の強化も向上させたい。

④ 不適切な支援の根絶を目指して

毎年公表される厚労省による全国の障害者虐待の状況、一向に改善の報告は聞かれない。それどころか、施設やグループホームにおける虐待の事例は、度々マスコミから届いてしまう。

片方では『意思決定支援』が叫ばれ、『共生社会』の実現も目指すべきことであるが、現実には障害者に対して虐待が横行している事実を認識しなければならない。

当法人の理念、「障害のある人の人格、人権を尊重するとともに本当の共生社会実現に努める」ことの意味を再確認したい。

残念ながら全体での虐待防止研修は実施できなかったが、2022年度は必ず実施したい。

⑤ 更なる高齢化及び障害の重度化への対応

標記の事態は年々進行しているのであり、指を咥えての傍観は許されないと。具体的な方向性、施策を立てるまで至らなかったが、障がい当事者及びご家族等の思いを聞きながら、多くの人の希望する対応策を具体的に考えて行きたい。そこから、具体策を模索する。

2. 各種会議の開催などについて

No.	会 議 名	開催回数	開催日時
1	評議員会		別表参照
2	理事会		別表参照
3	評議員選任・解任委員会	2	5/26 及び 2022/1/31
4	全体施設長会議	3	5/18 9/24 2022/3/24
5	船橋圏内施設長会議	10	4/30 5/28 6/25 8/6 8/27 10/29 11/26 12/24 2022/1/28 2/28
6	船橋圏内サービス管理・児童発達 支援管理責任者会議	10	4/6 5/11 6/1 7/7 8/3 9/7 10/5 12/7 11/2 3/1
7	サービス向上(虐待防止)委員会	10	4/20 5/10 6/21 7/12 8/23 9/27 10/25 11/15 12/20 2022/1/17
8	全体事務職会議	2	7/27 10/27
9	船橋圏内新人職員研修	1	* 該当事業所にて個別に実施
10	2年目職員研修会	1	7/30 *予定では3回

注)「防災担当者会議」、「船橋圏内全体職員研修」、「船橋市手をつなぐ育成会との意見交換会」
及び「おーぷん編集会議」、「ホームページ作成会議」については開催されていません。

※ 2021(令和3)年度 理事会・評議員会開催状況一覧

《 理事会 》

第 回	通知日			開催日			会場 (書面)	議題等	参加者 (書面提出者)
	年	月	日	年	月	日			
第1回 理事会				3	4	13	書面	諸規定の改正	理事6名・監事2名
第2回 理事会	3	5	14	3	5	26	Zoom利用	令和2年度事業報告 令和2年度決算 評議員選任解任委員の選任 内部監査報告 理事長職務状況報告	理事6名・監事2名
第3回 理事会	3	5	31	3	6	8	Zoom利用	令和2年度決算(再提案)	理事5名・監事2名
第4回 理事会	3	5	18	3	6	11	Zoom利用	理事長の選任	理事6名・監事2名
第5回 理事会	3	7	7	3	7	11	書面	令和2年度決算(再提案)	理事6名
第6回 理事会				3	8	31	書面	「野の花」管理者の交代	理事6名・監事2名
第7回 理事会	3	9	10	3	9	29	Zoom利用	第1時補正予算 諸規定の改正 魔法のランプ事業休止(報告)	理事5名・監事2名
第8回 理事会	3	12	20	4	1	26	Zoom利用	第2次補正予算 諸規定の改正 新評議員の推薦 実地指導結果と報告 夜勤帯の賃金についての和解	理事6名・監事2名
第9回 理事会	4	3	2	4	3	30	Zoom利用	第3次補正予算 4年度事業計画 4年度予算 諸規定の改正 「笹川なず な工房」と「野の花」管理者交代 第 5回評議員会の開催 コロナ感染状況 の報告	理事6名・監事2名

《 評議員会 》

第 回	通知日			開催日			会場 (書面)	議題等	参加者 (書面提出者)
	年	月	日	年	月	日			
第1回 評議員会	3	5	18	3	6	11	Zoom利用	令和2年度事業報告 令和2年度決算 内部監査報告 理事及び監事の選任 規程の改正	評議員6名・監事2名
第2回 評議員会	3	6	28	3	7	1	書面	令和2年度決算(再提案)	評議員6名・監事2名
第3回 評議員会	3	9	8	3	10	6	Zoom利用	第1時補正予算 魔法のランプ事業休 止(報告) 「野の花」管理者の交代(報 告)	評議員5名・監事2名
第4回 評議員会	4	1	7	4	2	2	Zoom利用	第2次補正予算 諸規定の改正 新評 議員の推薦 実地指導結果と報告 夜 勤帯の賃金についての和解	評議員5名・監事2名
第5回 評議員会	4	3	2	4	3	31	Zoom利用	第3次補正予算 4年度事業計画 4年度予算 諸規定の改正 「笹川なず な工房」と「野の花」管理者交代 コロナ感染状況の報告	評議員6名・監事2名

2. 施設等利用者の状況

令和4年3月31日現在

(1) 契約者数

利用事業	入所施設 (北総育成園・のま る)	生活介護 (北総育成園/笹川 なずな工房)	生活介護 (のまる)	生活介護 (けいよう・ゆたか福 祉苑・カメラアハウス)	児童発達支援セ ンター(とらのこキッズ ・さざんかキッズ)	就労継続支援B型 (笹川なずな工房 ・カメラアハウス)	グループホー ム (DD ホームズ・のまのま ホームズ・野の花)	合計
定 員	110	90	40	143	110	32	70	595
3年度当初 契約者数	104	81	39	164	98	37	68	591
年度内新規 契約者数	0	0	2	5	6	0	2	15
年度内 解約者数	2	1	1	3	3	0	1	11
年度末 契約者数	102	80	40	166	101	37	69	595

(2) 利用率

利用事業	入所施設 (北総育成園・のま る)	生活介護 (北総育成園/笹川 なずな工房)	生活介護 (のまる)	生活介護 (けいよう・ゆたか福 祉苑・カメラアハウス)	児童発達支援セ ンター(とらのこキッズ ・さざんかキッズ)	就労継続支援B型 (笹川なずな工房 ・カメラアハウス)	グループホー ム (DD ホームズ・のまのま ホームズ・野の花)	合計
年間延契約者数	1,222	756	480	1,975	1,206	444	829	6,912
年間開所日数	365	269	269	249	249	257	365	289
年間延利用者数	37,217	21,025	8,666	33,061	21,443	8,852	21,534	151,798
定員に対する 利用率(%)	93%	87%	81%	93%	78%	108%	84%	88%

(3) 利用者年齢区分

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	94	45	50	68	96	353
女子	16	17	23	28	50	134
計	110	62	73	96	146	487
構成比率(%)	22.6%	12.7%	15.0%	19.7%	30.0%	100.0%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (成人のみ)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	13	8	11	49	94	89	264	4.8
女子	5	3	8	17	35	52	120	4.9
計	18	11	19	66	129	141	384	4.8
構成比率(%)	4.7%	2.9%	4.9%	17.2%	33.6%	36.7%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点) (全施設対象)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	298	25	25	5	353
女子	98	17	15	4	134
計	396	42	40	9	487
構成比率(%)	81%	9%	8%	2%	100%

3. 保護者の状況 (全施設対象)

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	216	20	64	34	11	6	2	353
女子利用者	68	9	22	28	7			134
計	284	29	86	62	18	6	2	487

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 けいよう 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

令和3年度は40名のスタートとなりました。年度途中から契約された方が2名、契約解除となった方も2名いました。今年度は、契約者数を増やす事を試みましたが、なかなか契約には至らず、増員する事ができませんでした。また、今年度もコロナ禍の中ですので、少しでも体調面で不安のある方は、お休みしていただくようお願いもしていたため、出席率も下がってしまう結果となりました。

1月中旬には、新型コロナウイルスの陽性者が職員から出てしまい、その後、利用者さん6名、職員1名も陽性となり、保健所の指導の下、1月21日～28日までの期間を休所させていただく事態となってしまいました。陽性の方の症状は軽症の方が多かった事が幸いでした。

○ 研修及び職員の取り組み

<研修>

- ・今年度も、外部研修には積極的に参加する事ができず、安全運転責任者研修と強度行動障害基礎研修のみでした。
- ・内部研修については、感染症に対する意識を高めようと看護師に講師を依頼し、非常勤職員にも土曜日に出勤してもらい、講義と実技で研修を実施。
- ・中途採用の職員に対しては、サービス向上委員の職員による“ようこそさざんか会へ”の説明

<職員の取り組み>

- ・新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策と自身の健康管理の徹底（日々の健康状態のチェックと確認）
- ・1月に新型コロナウイルス感染症の感染が広まった後はあらゆる場面での感染予防について再度見直して、改善できる所は改善し、更なる感染予防に努めています。

○ その他

<新型コロナウイルス感染症における影響>

・今年度も、コロナ禍でのスタートとなり、日中活動においては昨年度と同様にあらゆる行事は中止とさせていただきます。また、コロナ禍の前は雨の日は屋内施設(ショッピングモール等)に出掛ける事がありましたが、それも現在も中止しています。外出できない代わりに何か楽しみをと以前からレンタルしているカラオケ機器を使い、体操をしたり、少人数で感染予防をしっかりと行った上でカラオケをしたりして体を動かす機会を作るようにしています。利用者の皆さんにはとても好評です。

・新型コロナウイルス感染症による影響で、バザー等の自主制作品を販売する機会が全く失くなってしまいました。そのため、時々ご家族にも商品を紹介して購入していただいたり、職員がネット等で情報収集をして販売場所の確保に努めています。現在金杉団地にあるコミュニティーサロンにおいて、小さなスペースではありますが販売させていただけるようになりました。現在も新たな販売ルートを模索中です。

・介護等体験や保育士等の資格取得のための学生さんの実習は、感染予防の観点から極力控えさせていただきました。そのため、外部の方との接触が殆どなくなってしまう結果となりました。実習生と接する事を楽しみにしている利用者さんも多くいらっしゃるのです。そのような楽しみを奪ってしまった事は申し訳なく思っています。

<お茶会の実施>

秋口に感染者が減り始め明るい兆しが見え隠れした頃、職員から外出せず、キッチンカーみたいなもので美味しい物を食べることができたらと話が挙がりました。たまたま知人にカフェを経営している人がいたため相談すると快諾してくれ、11月にけいようの食堂においてケーキセットを提供していただく事ができました。当日は食堂をカフェ風に飾り付けをして、短い時間ではありましたが、美味しいコーヒーや紅茶、ケーキで利用者さんも職員も楽しいひと時を過ごす事ができました。

<ひびきの発行の継続>

コロナ禍で、外出する機会が減ってしまいましたが、そういう時だからこそ利用者さんの様子をご家族にお伝えしようと今年度は年5回、発行しました。そこで日頃の利用者さんの活動の様子や職員の紹介等々記載して、情報の共有を図っています。特に年度初めの職員の顔写真付の紹介はご家族には好評のようです。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初								
男子常勤			3					3
男子非常勤							5	5
(常勤換算)							2.1	2.1
女子常勤	1	1	3					5
女子非常勤			7		1		1	9
(常勤換算)			3.7		0.2		1	4.9
計	1	1	13	0	1	0	6	22
(常勤換算)	1	1	9.7	0	0.2	0	3.1	15
3年度中 増減								
男子常勤			1					1
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			1					1
女子非常勤			-2					-2
(常勤換算)			1.4					1.4
計	0	0	0	0	0	0	0	0
(常勤換算)	0	0	3.4	0	0	0	0	3.4
4年度当初								
男子常勤			4					4
男子非常勤			1				5	6
(常勤換算)			1				2.1	3.1
女子常勤	1	1	4					6
女子非常勤			5		1		1	7
(常勤換算)			2.5		0.2		1	3.7
計	1	1	14	0	1	0	6	23
(常勤換算)	1	1	11.5	0	0.2	0	3.1	16.8

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		40				40
3年度当初 契約者数		40				40
年度内新規 契約者数		2				2
年度内 解約者数		2				2
年度末 契約者数		40				40

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		480				480
年間開所日数		250				250
年間延利用者数		8098				8098
定員に対する 利用率(%)		81%				81%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	1	4	9	3	8	25
女子		1	3	5	6	15
計	1	5	12	8	14	40
構成比率(%)	2.5%	12.5%	30.0%	20.0%	35.0%	100.0%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子			0	7	9	9	25	5.1
女子			2	2	6	5	15	4.9
計	0	0	2	9	15	14	40	5.0
構成比率(%)			5.0%	22.5%	37.5%	35.0%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	24		1		25
女子	15				15
計	39	0	1	0	40
構成比率(%)	97.5%	0.0%	2.5%	0.0%	100.0%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	12	3	5	3		2		25
女子利用者	7		6	2				15
計	19	3	11	5	0	2	0	40

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
感染症について	支援職	11月21日(土)	感染症に関する講義と汚物処理や消毒方法等の実技

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
安全運転管理者協会	安全運転管理責任者講習	9月17日	1	
NPO法人船橋福祉相談協議会 基幹相談支援センター	支援の難しい方への対応	10月28日	1	
千葉県	強度行動障害基礎研修	12月7日	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	R.3.6.2	散歩中、段差から降りる際に転倒し足首を捻挫	段差に登らないように声掛けをする、或いはコースの変更をする	○	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 北総育成園 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

①令和3年度もこの人達の「働くこと生きること」の実践を軸として更に高齢者重度者支援に対応してきた。
最高年齢83歳、60歳以上が3割を超えた利用者の健康面介護面について、看護師・課長・主任が中心となりこの24時間365日の入所施設業務について整えてくれた。

入院は5名(80歳代1名・60歳代2名・50歳代2名)、うち1名は介護医療院へ入所(この方は身寄りがないため様々な手続きは現在も当園で担っている)。

食事・排泄・移動・衣類や個室管理等の個別支援に対応してきた。

作業は平日の午前中だが、農耕や林産は午後も行う日も増えた。イベント販売はないが、道の駅や常連さんを中心に売り上げが伸びている。

手芸班木工班他室内班も新製品の開発を進めている。各職員の意欲・努力が有難い。

小さな報告連絡相談・話し合いを大切にし、園としてもそのモチベーションを支える取り組みをしてきた。

②帰宅や面会が出来ない中で、毎月のお知らせや居室・作業班だよりは写真入りで保護者に喜ばれている。

親や兄弟姉妹の逝去などでご家庭の変化もあり、ご家族の高齢化弱体化が顕著になり、現在5名の利用者について身元引受人・各市町村ともご相談しながら成年後見制度の申請を行っている。

③衛生管理と感染予防について、千葉県事業によるPCR検査を毎月実施し陽性者は0名。ただ職員の家族が職場や学校などで濃厚接触者になる・体調不良(ワクチン副反応含む)などして急に休む職員が多かったが、お互い勤務変更や超過勤務に協力してくれた。その調整がこの1年大きな業務でもあった。

衛生講習・衛生管理マニュアル・最新情報を適切に取り入れ職員の精神衛生にも配慮し対応してきた。

④人材確保と人材育成について、この仕事は職員の皆さんの力あってこそこの仕事である。このコロナ禍で職員の皆さんが皆心を合わせて多くの努力をしてくれたことに心から感謝します。本当に有難うございました。

職員皆さんが意欲を持って安心して勤め続けられるように、環境整備・業務マニュアル・労務管理・資格取得支援などを整えてきた1年であり、おかげで様々な成果を得ることができたと評価している。

⑤防災安全について、非常物品や非常食の管理・避難訓練・環境整備を行ってきた。

平成27年新棟新設と既存棟改修から7年経過し、ボイラー・エアコン・受水槽・ガス警報器等補修してきた。

9月に敷地内の高木伐採・各作業班作業場の補修・電気工事なども行った。今後も安全管理を第一にメンテナンス・補修を行っていく。

⑥給食については、4月より(株)メフォスに業務委託、毎月と随時の話し合いを重ね、良い形になってきた。

また1月より温冷配膳ワゴンを導入。食器も一新し、より温かい食事提供ができ利用者にも職員にも好評である。

介護食(刻み食・ペースト食・ヘルシー食・とろみ食他)も多くなっている現在、より専門的支援が可能になった。

⑦「船橋市指定管理第4期」7月に書類申請を行い、10月に市役所にて面接審査、理事長・園長・副園長が参加した。

令和4年3月基本協定書締結。今後も船橋市施設として責任ある運営を行っていく。

○研修及び職員の取り組み

①園内虐待防止・権利擁護研修 全職員対象

(1)9/1水10名 (2)10/13水11名 (3)11/10水11名 (4)12/1水12名

②千葉県虐待防止権利擁護研修 伝達研修 (副園長より全職員対象)

(1)1/5水23名 (2)1/13水9名 (3)1/26水10名 (4)その他6名

③DWAT登録時研修

(1)11/2 3名 (2)12/14 3名 オンラインにて

④職員行動チェックリスト提出 集計し内容を報告 全職員対象

(1)前期8月 (2)後期3月

⑤サービス管理責任者 現任研修

2月・3月 7名受講

⑥福祉資格取得支援制度

令和3年度国家試験合格 介護福祉士2名・社会福祉士1名

⑦その他、オンラインにて 相談支援研修・防災BCP研修他

千葉県知的障害者福祉協会 権利擁護研修 他

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初								
男子常勤		1	17					18
男子非常勤	1		2					3
(常勤換算)	0.7		1.2					1.9
女子常勤		1	14		1	1	3	20
女子非常勤			10					10
(常勤換算)			6					6
計	1	2	43	0	1	1	3	51
(常勤換算)	0.7	2	38.2	0	1	1	3	45.9
3年度中 増減								
男子常勤			-1					-1
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.4					0.4
女子常勤			-2					-2
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	-2	0	0	0	0	-2
(常勤換算)	0	0	-2.6	0	0	0	0	-2.6
4年度当初								
男子常勤		1	16					17
男子非常勤	1		3					4
(常勤換算)	0.5		1.7					2.2
女子常勤		1	13		1	1	3	19
女子非常勤			10					10
(常勤換算)			5.6					5.6
計	1	2	42	0	1	1	3	50
(常勤換算)	0.5	2	36.3	0	1	1	3	43.8

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員	75	75				150
3年度当初 契約者数	69	69				138
年度内新規 契約者数	0	0				0
年度内 解約者数	1	1				2
年度末 契約者数	68	68				136

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数	816	816				1,632
年間開所日数	365	269				317
年間延利用者数	24,894	18,381				43,275
定員に対する 利用率(%)	91%	91%				91%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	0	2	3	6	31	42
女子	0	2	3	5	16	26
計	0	4	6	11	47	68
構成比率(%)	0.0%	5.9%	8.8%	16.2%	69.1%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	0	0	0	1	11	30	42	5.7
女子	0	0	0	0	9	17	26	5.7
計	0	0	0	1	20	47	68	5.7
構成比率(%)				1.5%	29.4%	69.1%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	30	4	7	1	42
女子	12	4	6	4	26
計	42	8	13	5	68
構成比率(%)	61.8%	11.8%	19.0%	7.4%	100.0%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	16	2	8	10	6	0	0	42
女子利用者	6	3	3	10	4	0	0	26
計	22	5	11	20	10	0	0	68

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
医務研修	37名	4月7日	新型コロナウイルスに対する感染対策の基本
衛生講習会	27名	6月16日	千葉県がんセンター感染管理認定看護師前田佐知子様を向かい 新型コロナウイルス感染予防について
職員研修	44名	9/1.10/13.11/10.12/1	さざんか会の歴史・障害者虐待防止法
職員研修	42名	1/5.1/19.1/26	千葉県虐待防止権利擁護研修 伝達研修

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
香取健康福祉センター	給食施設衛生講習会	7月5日	1	千葉公式セミナーチャンネル
千葉県発達障害者支援センター	自閉症連続基礎講座	7/12.19.26	1	オンライン研修
株式会社JIC	障害者施設の報酬改定に備えて	9月7日	2	オンラインセミナー
NPO法人船橋福祉相談協議会	虐待を起こさない施設に	10月22日	1	オンライン会議
千葉県社会福祉協議会	千葉県災害福祉支援チーム員登録研修1日目	10/26.27	6	Zoom
千葉県社会福祉協議会	千葉県災害福祉支援チーム員登録研修2日目	11/2.12/14	6	Zoom
千葉県知的障害者福祉協会相談支援部会	相談支援部会研修会	11月24日	1	Zoom
千葉県知的障害者福祉協会権利擁護委員会	障害者虐待防止研修	1月28日	3	Zoom
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	サービス管理責任者 現任研修	2月3月	7	Zoom

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
		なし			

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 ゆたか福祉苑 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

ご利用者様の契約状況は、4月に2名、10月に1名の新規利用契約がありました。例年、転居や施設入所、健康トラブル(死去含む)他、様々な理由で数名の方が登録を外れますが、令和3年度中の契約解除者はいらっしゃりませんでした。年度末時点で、登録上は90名の契約者数となっています。

契約人数上は安定しているようでも、やはりコロナ禍にあっての実利用者数は、国内の新型コロナウイルス新規感染者数の増減に連動して、大きく変動する一年でした。

とりわけ『緊急事態宣言』や『まん延防止等重点措置』期間中は、ご利用をお控えになる方や、期間中の接触範囲を小さく保つため、のまるからの通所を中断する等の対応で、利用率が極度に落ち込みます。加えて、幸い大きなクラスターには至りませんでした。事業所内で同時期に感染者が数名発生した折には臨時休苑の措置を取ったこともあり、コロナによる減収は、昨年度に引き続き大きなものでした。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・オンデマンド教材を用いた苑内研修の実施
- ・サービス向上委員による虐待防止研修および身体拘束の廃止に向けた学習
- ・グループ単位による支援職倫理のディスカッション
- ・YouTube動画による摂食、嚥下、食事介助の研修
- ・衛生推進者による労働安全、危険予知トレーニング
- ・外部研修へのオンライン参加

○ その他

・長年ご利用者様送迎の主力を担ってきた2台のマイクロバスですが、このうち北回りコースについては、乗車メンバーの入れ替わりやニーズの細分化によって、『一度に沢山の人を運ぶ』という大型車のメリットが活かしにくい状況となり、6月の車検満了をもって送迎コースの再編を行いました。

新たに導入した14人乗りワゴン車とリフト付きワゴン車を活用して、より効率的な送迎が行えるようになりました。

・平成28年度に実施した大規模改修工事の際に、パイプシャフトの歪みによって着手保留のまま積み残し課題となっていた、井戸水汲上ポンプの交換工事について、改めて検討した結果『もう一本井戸を掘る』という打開策に至り、10月にさく井工事を行いました。

無事に新しいポンプが水脈に届き、切り替えもスムーズに行うことができ、かねてからの懸案事項がクリアになりました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初								
男子常勤	1	1	8					10
男子非常勤			6				3	9
(常勤換算)			5.8				1.3	7.1
女子常勤			7	1	1		1	10
女子非常勤			7				1	8
(常勤換算)			6.1				0.9	7
計	1	1	28	1	1	0	5	37
(常勤換算)	1	1	26.9	1	1	0	3.2	34.1
3年度中 増減								
男子常勤			0					0
男子非常勤			-2				2	0
(常勤換算)			-1.9				0.4	-1.5
女子常勤			-2	-1				-3
女子非常勤			1					1
(常勤換算)			1.5					1.5
計	0	0	-3	-1	0	0	2	-2
(常勤換算)	0	0	-2.4	-1	0	0	0.4	-3
4年度当初								
男子常勤	1	1	10					12
男子非常勤			4				4	8
(常勤換算)			3.4				1.2	4.6
女子常勤			6		1		1	8
女子非常勤			8				1	9
(常勤換算)			7.6				0.9	8.5
計	1	1	28	0	1	0	6	37
(常勤換算)	1	1	27	0	1	0	3.1	33.1

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		75				75
3年度当初 契約者数		89				89
年度内新規 契約者数		1				1
年度内 解約者数						0
年度末 契約者数		90				90

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		1,074				1,074
年間開所日数		249				249
年間延利用者数		17,283				17,283
定員に対する 利用率(%)		93%				93%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	1	7	10	25	15	58
女子	2	5	6	8	11	32
計	3	12	16	33	26	90
構成比率(%)	3.3%	13.3%	17.8%	36.7%	28.9%	100.0%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子				12	24	22	58	5.2
女子			1	2	9	20	32	5.5
計	0	0	1	14	33	42	90	5.3
構成比率(%)			1.0%	15.6%	36.7%	46.7%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	54		4		58
女子	28		4		32
計	82	0	8	0	90
構成比率(%)	91%	0%	9%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	33	4	15	4		2		58
女子利用者	17	2	8	4	1			32
計	50	6	23	8	1	2	0	90

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
支援職基礎研修	支援職員	R3.5.29	「障害福祉の仕事をするということ」 「利用者主体の支援について」
虐待防止研修	支援職員	R3.7.31	「障害者虐待防止法の理解と対応」 「身体拘束の廃止に向けて」
ASDの理解と支援	支援職員	R3.9.25	「自閉スペクトラム症について」 「行動障害について」
支援職倫理について	支援職員	R3.10.30	自己チェック→ディスカッション→目標設定
支援の難しい方への対応	支援職員	R3.11.27	事業所の成り立ちを振り返り、 ゆたか福祉苑が担う役割を考える
労働安全・防災研修	支援職員	R3.12.25	「危険予知トレーニング」 「初期消火トレーニング」
摂食研修	支援職員	R4.2.26	食事介助の基本を学ぶ

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県福祉人材センター	福祉・介護の就労定着セミナー	6月18日	1	オンライン
東京都障害者通所活動施設職員研修会	Withコロナ時代の支援	9月22日	1	オンライン
千葉県発達障害者支援センター	自閉症連続基礎講座	12/3・10・17	1	オンライン
千葉県知的障害者福祉協会	虐待防止委員会の組織づくりを学ぶ研修会	1月28日	2	オンライン

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	R3.4.26	食後の移動時、付添い職員の 足に躓き転倒し上唇に裂傷	下膳や食器の片付けよりも 安全を優先させる	無	
2	R3.5.18	燃料の入れ間違いによる送迎 車(マイクロバス)の故障	油種の異なるバスが廃車と なりバス＝軽油に限定	無	
3	R3.9.22	前日にキャンセルの意向を示 された方へのワクチン誤接種	幸い健康面に影響なく2回 目接種も実施	無	
4	R3.10.28	広場の駐車場にて木の幹にバ スを接触させ屋根を破損	出入りルートの限定	無	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 のまる 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1 施設入所支援

まん延防止期間など様々な制限のある生活でしたが、ユニットごとに体力維持やストレス対策、余暇活動の調整にて精神面を崩すことなく過ごされております。令和3年2月下旬にコロナウイルス集団感染の発生、至誠クリニック医師・船橋市保健所・千葉県の担当者様と連携し終息まで対応致しました。

まだまだ、先が見えない状況ですが、ご利用者様・ご家族様・船橋市・医療機関と連携し感染症対策に取り組むことで、困難な状況にあってもご利用者様が笑顔で生活が送れるような支援を大切にしたいと考えています。

＊まん延防止期間に伴う帰宅自粛により利用率が一時的に増加しております。

2 生活介護事業

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の市中感染、まん延防止期間により移動の範囲や活動内容に制限がかかる状態でした。マスクを着用できない利用者様も多く、活動場所の調整を行いながら、利用者様の個別ニーズを達成出来るよう活動内容(アクセサリ作り、多肉植物育成等)を実施し、利用者様が充実感の得られる活動内容及び生活介護の提供に取り組みました。また、在宅から生活介護サービスを利用しやすいように自宅までの送迎サービスをしております。

＊まん延防止期間に伴う外出自粛等により利用率が一時的に増加しております。

3 短期入所事業

令和3年度も新型コロナウイルス感染症予防に伴い、短期入所サービス受入れの際は、

ワクチン接種状況の確認、体調確認、抗原検査を実施してからの受け入れとさせて頂きました。ご家族の体調不良など緊急の受け入れにも対応してきましたが、集団感染やまん延防止期間等の自粛により、利用率は前年度同様に低い状況です。親の介護、冠婚葬祭、体験、など利用理由は多種多様ですが、今後も船橋市や医療機関と連携しながらサービスの提供に努めて参ります。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・内部研修、外部研修、オンライン形式の研修参加。

研修項目

安全衛生管理体制の構築研修

法人内新人研修

令和3年度障害者施設職員研修会(新任職員コース)

千葉県相談支援従事者初任者研修

強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)

虐待防止研修

虐待防止マネージャー研修

感染症発生時の事業継続マニュアル(BCP)研修

サービス管理責任者更新研修

- ・外出の自粛に伴い、作品作りに力を入れる。

多肉植物の育成やアクセサリー作りなど作品作りに力を入れて取り組みました。販売会の機会が少ないですが、ご家族様に購入していただいたりと作品をお披露目する事が出来ました。

- ・余暇活動の工夫

テイクアウトを利用した食事会、公園でのピクニックなど気分転換を図る機会を設けました。

○ その他

令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防に取り組むも、令和4年2月下旬に集団感染を発生させてしまい終息まで約1ヶ月を要しました。罹患者は入居者様16名、職員10名、合計26名の感染となっていました。入居者様・職員ともに発熱・咳・鼻水等の症状で入院を伴わない軽症で皆様2～3日ほどで回復されております。船橋市保健所社会対応班・千葉県クラスター班の看護師よりアドバイスを頂き、感染拡大防止の取り組みや感染症対策を見直しました。また、感染症発生時の事業継続計画(BCP)を作成していましたが、実際に行ってみると見直すべき箇所が確認出来ました。今回の教訓を活かして、感染予防対策と日々の支援方法を変更する事で安心して過ごせる環境を維持します。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初	1	1	36	0	1	0	1	
男子常勤	1	1	17	0	0	0	0	19
男子非常勤	0	0	3	0	0	0	0	3
(常勤換算)			2.3					2.3
女子常勤	0	0	11	0	0	0	1	12
女子非常勤	0	0	5	0	1	0	0	6
(常勤換算)			2		0.7			2.7
計	1	1	36	0	1	0	1	40
(常勤換算)	1	1	32.3	0	0.7	0	1	36
3年度中 増減	0	0	0	0	1	0	0	
男子常勤			-1					-1
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			1					1
女子常勤			-1					-1
女子非常勤			1		1			2
(常勤換算)			0.9		0.4			1.3
計	0	0	0	0	1	0	0	1
(常勤換算)	0	0	-0.1	0	0.4	0	0	0.3
4年度当初	1	1	36	0	2	0	1	
男子常勤	1	1	16	0	0	0	0	18
男子非常勤	0	0	4	0	0	0	0	4
(常勤換算)			3.4					3.4
女子常勤	0	0	11	0	0	0	1	12
女子非常勤	0	0	6	0	2	0	0	8
(常勤換算)			3.3		1.2			4.5
計	1	1	37	0	2	0	1	42
(常勤換算)	1	1	33.7	0	1.2	0	1	37.9

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	短期入所	就労B型	グループホーム	合計
定員	35	40	7			82
3年度当初契約者数	35	39	16			90
年度内新規契約者数	0	2	0			2
年度内解約者数	1	1	1			3
年度末契約者数	34	40	15			89

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	短期入所	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数	406	480	180			1066
年間開所日数	365	269	365			999
年間延利用者数	12,323	8,666	464			21,453
定員に対する利用率(%)	96%	81%	18%			65%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	0	3	9	8	6	26
女子	0	0	3	3	2	8
計	0	3	12	11	8	34
構成比率(%)	0.0%	8.8%	35.3%	32.4%	23.5%	100.0%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	0	0	0	0	12	14	26	5.5
女子	0	0	0	0	3	5	8	5.6
計	0	0	0	0	15	19	34	5.6
構成比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.1%	55.9%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	21	0	4	1	26
女子	7	0	1	0	8
計	28	0	5	1	34
構成比率(%)	82%	0%	15%	3%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	11	3	7	2	2	0	1	26
女子利用者	4	1	1	2	0	0	0	8
計	15	4	8	4	2	0	1	34

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
安全衛生管理体制の構築	衛生推進者	7月21日	戸田弁護士・産業医による安全衛生管理体制について
2年目職員研修	2年目職員	7月30日	わかりやすい情報提供について
感染症予防	全職員	8月16日	感染症予防委員会より(予防マニュアル追加)
福祉サービス苦情解決研修	支援職	8月30日	苦情・相談・要望への対応方法や相談者の思いについて
虐待防止研修	支援職	7月8日	虐待とは(日々の支援を振り返る)
身体拘束廃止研修	支援職	10月8日	身体拘束廃止に向けての取り組み
虐待防止(伝達研修)	支援職	12月1日	不適切な支援を防止する方法について
虐待・身体拘束廃止研修	サービス管理責任者 ユニットリーダー	12月24日	虐待・身体拘束チェック表の結果から原因や対応について考える。
事業継続(BCP)研修	全職員	2月4日	感染症発生時の事業継続について

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県社会福祉協議会	新人職員のための接遇マナー研修	5月27日	1	
しかくの学校ホットライン	強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)	5/20～	5	
中央福祉学院	社会福祉施設長資格認定講習	7/1～	1	
全国障害者総合福祉センター	障害者施設職員研修会(新任職員コース)	8/7.8	1	
生活サポート千葉	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	8/20.31	1	
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	令和3年度千葉県相談支援従事者初任者研修	8/25～	1	
NPO法人 船橋福祉相談協議会	虐待を起こさない施設に ～津久井やまゆり園及び袖ヶ浦福祉センター事件の深層を見る～	10月22日	4	
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	令和3年度障害者虐待防止・権利擁護研修 (管理者・虐待防止マネージャー対象)	11月14日	2	
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	令和3年度千葉県相談支援従事者現任者研修	12/8～	1	
全国障害者総合福祉センター	コロナ禍における重度障害者の運動等を通じた健康づくり	12月11日	1	
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	令和3年度千葉県サービス管理責任者更新研修	2/7～	4	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	2021年4月10日	概要/説明不十分による他害行為 状況/パニック状態にて職員を叩く	対応/本人にクールダウンして頂く。 対策/本人に行動の事前説明を行う。	なし	
2	2021年6月3日	概要/薬の飲みこぼし 状況/衣類に薬が付着していた。	対応/捜索と怪我の確認 対策/本人の特性把握、職員間の見守り連携	なし	
3	2021年7月20日	概要/無断外出 状況/所在不明が分かり敷地内で発見	対応/再度服用しました。 対策/口腔内と周囲の確認を行う。	なし	
4	2021年8月11日	概要/左手甲1.5cmの裂傷 状況/高揚しトイレペーパーホルダーを叩く	対応/通院し外傷の止血と消毒を行う。 対策/支援方法の変更と高揚時の環境配慮	あり	
5	2021年11月29日	概要/誤薬 状況/排便状況の記載漏れによる下剤服用	対応/体調観察を行いました。 対策/排便記録方法と確認方法の周知	なし	
6	2022年1月27日	概要/コロナウイルス感染 状況/職員3名罹患	対応/入居者・職員の体調観察と感染 予防に伴う支援を行う。 対策/感染予防と健康観察の強化	あり	
7	2022年2月25日	概要/コロナウイルス感染 状況/入所者16名職員10名罹患	対応/入居者・職員の体調観察と通院、 感染拡大防止の支援を行う。 対策/感染予防対策の見直しと利用者・ 職員の健康観察強化	あり	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 とらのこキッズ 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

①新型コロナウイルス感染症感染予防対策

未だ新型コロナウイルス感染症感染予防対策に追われる社会状況が続いていますが、当園においても予防対策に追われた1年でした。予防のための分散登園や休園措置等、その局面に応じて対策を行ってきました。

これまでも消毒・換気・ディスタンスの3つを基本に療育活動においても、創意工夫しながら取り組んできました。しかしながら、実施した全体行事はクリスマス会と卒園式(思い出会)のみとなりました。(いずれもクラス単位。)

また毎月の保護者会も定期的に行うことができず、保護者間での情報交換や親睦の機会も多くもつことができませんでした。令和4年度も継続した感染症感染予防対策を講じながらの日々となりますが、感染症の社会状況に応じた過不足のないアップデートを講じていきたいと思えます。

②人材育成

上記①こともあり「さざんかキッズ」管理者間との定期的な会合を設ける機会を持つことができませんでした。法人の数名の保育士や支援員が保育士養成課程の県内私立短期大学の授業に参加し、学生に向かって自分の職業のやりがいや、自分自身のことについて話す貴重な機会をいただきました。

「とらのこ」「さざんか」からも保育士がそれぞれ1名ずつが参加し、当人にとっても勉強になっただけでなく、次の日からの仕事への糧にもつながったと思われます。

③環境整備

日々の屋内外設備の点検は実施していますが、遊具や設備の老朽化が目立ち始めましたので、園庭設置の大型遊具の大半を入れ替えました。

また児童が入室するウッドデッキ側入り口にクッションを設置しました。安全性だけでなく、水はけもよく排水管から雨水が溢れることもそれ以前と比較すると少なくなっています。

④地域連携

コロナ禍の中、双方でなかなか実施する機会が持てませんでしたが、当園にご入園される前にご利用されていた、いくつかの児童発達支援事業所とは、管理者間において今後基盤づくりを始めることができました。

次年度は感染症の社会状況をみながら、保育士間の研修や学習の機会につなげていきたいと考えています。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初	1(兼務)	1	17		1	業務委託	3 (運転手業務委託)	23
男子常勤	1							1
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤		1	12				1	14
女子非常勤			5		1		2	8
(常勤換算)			3		0.3		0.4	3.7
計	1	1	17	0	1	0	3	23
(常勤換算)	1	1	15	0	0.3	0	1.4	18.7
3年度中 増減			-3					-3
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			-3					-3
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	-3	0	0	0	0	-3
(常勤換算)	0	0	-3	0	0	0	0	-3
4年度当初	1(兼務)	1	19	運転手	1	業務委託	3	25
男子常勤	1							1
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤		1	13		0		1	15
女子非常勤			6		1		2	9
(常勤換算)			3.4		0.3		0.4	4.1
計	1	1	19	0	1	0	3	25
(常勤換算)	1	1	16.4	0	0.3	0	1.4	20.1

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員			30			30
3年度当初 契約者数			30			30
年度内新規 契約者数			2			2
年度内 解約者数			2			2
年度末 契約者数			30			30

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数			360			360
年間開所日数			250			250
年間延利用者数			6,382			6,382
定員に対する 利用率(%)			85%			85%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	25					25
女子	5					5
計	30	0	0	0	0	30
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	25						25	1.0
女子	5						5	1.0
計	30	0	0	0	0	0	30	1.0
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	25				25
女子	5				5
計	30	0	0	0	30
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	24	0	1					25
女子利用者	5	0	0					5
計	29	0	1	0	0	0	0	30

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
愛着(アタッチメント)基礎の知識編	保育者	R3.7.15	NPO法人船橋福祉相談協議会基幹相談支援センター「ふらっと船橋」主催講座
ビジネスマナー電話対応	新任者研修	R3.11.1	電話対応(ロールプレイ)
食べる機能の発達と介助・訓練	保育者	R3.12.23	船橋市こども発達相談センター言語聴覚士によるビデオ講習
事業所内部研修(より良い支援)	保育者	R4.4.1 (R3年度研修として実施)	人権の擁護・虐待防止・虐待の発生又は再発の防止

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
船橋市こども発達相談センター	令和3年度感覚統合療法療法入門講座	10/1	1	
千葉県障害福祉事業課	千葉県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修・演習(zoom)	11/4.5	1	
船橋市こども発達相談センター	令和3年度感覚統合療法療法入門講座	11/12	1	
千葉県障害福祉事業課	千葉県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修・演習(zoom)	R4.2月～3月 (計4回)	4	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
		なし			

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 さざんかキッズ 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策としては十分に気を付けて取り組んできたが、2月以降、3回計21名の感染者を出すこととなり、休園措置や分散登園など園児にも保護者にもご迷惑をかけることとなった。
- ・ コロナ禍の中で、出来る行事を考え今年度は、保護者1名参加で音楽療法を体験する「音楽であそぼ」と親子で戸外を散歩する「お散歩へ行こう」を新しく企画し、実施する。どちらも保護者にはおおむね好評であった。
- ・ 知的クラスの定員は70名となっているが、数年前から、職員不足のため1クラス11名で6クラス体制、知的クラスは66名となっている。4月当初は62名であったが、5月6月に1名ずつ年長児、9月に2名の年少児が入園。66名となる。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・ 職員研修は、外部へ出ることは控え、園内研修を行なう
言語療法研修 講師 言語聴覚士
音楽療法研修 講師 音楽療法士
摂食指導研修 講師 日本歯科大
緊急時(鼻血 嘔吐)対応研修 常勤看護師

○ その他

- ・ 令和3年度の報酬改定により「個別サポート加算」が創設され、より手厚い支援を必要とする子どもへのきめ細かい支援が園児一人ひとりに評価されることになり、給付費全体として収入が増えた。その為、年度途中に玩具の購入や、建物の修繕、送迎車両へのドライブレコーダーの設置などができた。
- ・ また、建設当初からの懸案事項であった、園内の駐輪場屋根の設置について、昨年度より自転車で来園する肢体不自由児保護者が増え、雨の日にお子さんを自転車に乗せる時に濡れてしまったり、夏の日差しに、自転車のサドルが熱くなって困っている方がいたので、今年度、駐輪場の屋根の設置工事をする事ができた。保護者の皆さんも大変喜ばれている。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師 専門職	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初							委託	
男子常勤					1			1
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤	1	4	21		1			27
女子非常勤			8		2	2		12
(常勤換算)			4.5		0.9			5.4
計	1	4	29	0	4	2		40
(常勤換算)	1	4	25.5	0	2.9	2	0	33.4
3年度中 増減								
男子常勤					1			1
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤			1					1
女子非常勤			-1					-1
(常勤換算)			-0.45					-0.45
計	0	0	0	0	1	0	0	1
(常勤換算)	0	0	0.55	0	1	0	0	1.55
4年度当初							派遣	
男子常勤					1			1
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤	1	3	20		1			25
女子非常勤			9		2	2		13
(常勤換算)			5.3		0.9	2		8.2
計	1	3	29	0	4	2		39
(常勤換算)	1	3	25.3	0	2.9	2	0	34.2

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員			80			80
3年度当初 契約者数			68			68
年度内新規 契約者数			4			4
年度内 解約者数			1			1
年度末 契約者数			71			71

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数			846			846
年間開所日数			249			249
年間延利用者数			15,061			15,061
定員に対する 利用率(%)			76%			76%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	62					62
女子	9					9
計	71	0	0	0	0	71
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	62						62	1.0
女子	9						9	1.0
計	71	0	0	0	0	0	71	1.0
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	62				62
女子	9				9
計	71	0	0	0	71
構成比率(%)	100%	0%	0%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	61		1					62
女子利用者	9							9
計	70	0	1	0	0	0	0	71

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
新人研修	新任職員		
摂食研修	全保育士	10.6	日本歯科大 講師による摂食指導
言語研修	全保育士	10.28	園で行なわれている言語療法について
止血などの 対応研修	全保育士	11.1	止血・嘔吐など非常時の対応について
音楽療法	全保育士	11.18	園で行なわれている音楽療法について

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加 人数	備考
千葉県	児童発達支援管理責任者初任者研修	R3.8.24～26		Zoom
千葉県	児童発達支援管理責任者初任者研修	R3.10.7～8	1	
千葉県	児童発達支援管理責任者更新研修	R4.2.24	1	Zoom

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	R4.1.11	転んで顔面をぶつける 歯のぐらつきにて通院	保育室内の環境設定 安全を守るためへの保育者の 動きの確認	有	
2	R4.1.13	コロナウイルス感染者1名	園内の消毒・換気の徹底 手洗いの励行 園児、職員の体調観察	有	
3	R4.2.5	コロナウイルス感染者2名	園内の消毒・換気の徹底 手洗いの励行 園児、職員の体調観察	有	
4	R4.2.21	転んで顔面をぶつける 歯のぐらつきにて通院	保育室内の環境設定 安全を守るためへの保育者の 動きの確認	有	
5	R4.2.24	コロナウイルス感染者16名	園内の消毒・換気の徹底 手洗いの励行 園児、職員の体調観察	有	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 笹川なずな工房 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1・感染対策の継続

2年目となったコロナ禍での運営となりましたが、館内の徹底消毒 朝、夕の実施をはじめ、送迎時、利用者さんの通所後からの分散待機、作業、分散昼食と継続して実施してきました。

北総育成園との情報の共有、研修や各団体からのコロナ情報、近隣情報と感染対策は職員間で情報を共有し利用者、職員が安心して作業に業務出来るよう取り組んでしました。

2・作業について

作業活動は令和2年度 後半より特別支援学校を主とした注文販売にて継続、これに公共機関が少しずつ増え対応できるようになってきました。

「お客様から販売できる？ 買える？」との言葉を頂き通常の店頭販売の形にまで戻ってはいませんが連絡を頂き注文スタイルが定着しての活動となっています。

今年度も東庄町給食にて園児、児童、生徒たちにとマフィン1100個の注文を頂きました。日頃よりこども園、給食センター職員用にと給食のパン注文を頂いている評価と思います。

「可能であれば小学校、中学校も対応して欲しい」と嬉しい言葉も頂いています。日々の作業活動の模索の中ですのでありがたい励みになる言葉です。

「従来のような対面販売にて来てください」との声を頂ける場面も増えました。少しずつ、就労継続支援B型の活動が戻りつつある1年となりました。

生活介護事業については、令和1年度から高齢化重度化に伴い生活介護事業(生活充実班)を展開しています。

「働くこと、生きこと」をモットーに生産活動に重点を置き実践してきた当施設にとって生活充実班の位置付けが曖昧であり、更にコロナ禍の中、活動の制限もありましたが、施設前の休耕地となっていた荒地を無償でお借りし、ブルーベリー畑に開拓。

土壌整備、水田だった土地の為、暗渠排水工事をし、2月ブルーベリーの植栽100本が植えられました。

保護者の同僚である方のお手伝いを得て準備、その管理とお力を得て整備するが出来ました。今後の生育が楽しみになります。

施設周りは職員の創意工夫により環境整備が進んでいますが加えてブルーベリー畑の整備を生活充実班が担当し活動の幅がでて更に工夫した活動の展開が出来ます。

3・設備 整備について

建築設計士さんに現況調査を依頼しました。施設内部において東日本大震災がきっかけで壁紙の割れや通風等による湿度の影響を受けた部が散見するため全館の壁紙張り替え工事を11月に実施しました。

食品の生産活動の場でもあり、お客様の出入りもある当施設ですの
で、壁紙が張り替えられ、館内が明るく解放的になりました。

外部においては適切に維持管理されているとの事でしたが、外壁腰板回りの補強塗装を5年に一回実施し、10年目で全塗装が有効との指摘を受け、今回は腰回りの補強塗装を職員で実施しました。

日常的に安全に努め、定期的な専門調査を取り入れ維持管理をしたいと思います。

また、車両に付いては老朽化が目立っています。令和2年に送迎用として活用する14人マイクロバスをリースで導入していますが、続いて送迎用車両10人乗りのエンジン故障があり修理に多額な費用が掛かることから、リースにて新車導入に切り替えました。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・8年就業した常勤職員の退職により求人探しが続く。
報・連・相を軸に不足を補う職員の結束力が強まりました。
- ・同時に非常勤職員の募集に「地元の施設なので働きたかった」と利用者支援に励んで頂ける仲間が加わりました。
- ・DWAT研修、衛生管理研修、安全運転管理者研修、虐待防止研修等全体に情報共有し理解を深め努めました。
- ・北総育成園の設立と職員像 研修に参加
親の会発足から今に至る経緯を写真と説明で深く知り、施設にて改めて職員へ源流を伝えさせて頂きました。
- ・常に何をやるにもコロナがある事が前提の中
今出来ること、守る時を職員全体で考え実践していくそういう時間を共有してきました。

○ その他

職員配置において 年度途中に笹川なずな工房と野の花の管理者、サービス管理責任者が各々での設置となったことで職員体制に大きな影響が生じました。これにより野の花との協力体制をより強くし共有して運営をしていきます。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初								
男子常勤			3					3
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.5					0.5
女子常勤			3					3
女子非常勤			3		1			4
(常勤換算)			1		0.2			1.2
計	0	0	10	0	1	0	0	11
(常勤換算)	0	0	7.5	0	0.2	0	0	7.7
3年度中 増減			-1					
男子常勤	1	1	3					5
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.5					0.5
女子常勤			2					2
女子非常勤			3					3
(常勤換算)			0.9					0.9
計	1	1	9	0	0	0	0	11
(常勤換算)	1	1	6.4	0	0	0	0	8.4
4年度当初								
男子常勤			2					2
男子非常勤			2					2
(常勤換算)			1.2					1.2
女子常勤	1	1	2					4
女子非常勤			6		1			7
(常勤換算)			2.5		0.2			2.7
計	1	1	12	0	1	0	0	15
(常勤換算)	1	1	7.7	0	0.2	0	0	9.9

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		15		20		35
3年度当初 契約者数		12		22		34
年度内新規 契約者数		0		0		0
年度内 解約者数		0		0		0
年度末 契約者数		12		22		34

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		144		264		408
年間開所日数		269		269		538
年間延利用者数		2,644		5,810		8,454
定員に対する 利用率(%)		66%		108%		87%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	4	7	5	1	4	21
女子	0	5	6	2	0	13
計	4	12	11	3	4	34
構成比率(%)	11.7%	35.3%	32.4%	8.8%	11.8%	100.0%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	9	1	3	3	3		19	2.5
女子	4	0	2	5	2		13	3.1
計	13	1	5	8	5	0	32	2.7
構成比率(%)	40.6%	3.2%	15.6%	25.0%	15.6%	0.0%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	0	18	1	2	21
女子	0	13	0	0	13
計	0	31	1	2	34
構成比率(%)	0%	91%	3%	6%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	12	0	6	2	1	0	0	21
女子利用者	10	1	1	0	1	0	0	13
計	22	1	7	2	2	0	0	34

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
工賃査定会議	常勤職員	毎月第二週 土曜日	作業の様子 モニタリング 会議
事業班計画委員会	常勤職員	5月15日	各作業班の今年度の計画 利用者さんの目標と課題
衛生管理研修	常勤職員	5.6.7.8.1.2月	感染対策 食品衛生における留意点 清掃、消毒の確認
虐待防止研修	全職員	12/14. 1/5	虐待防止、身体拘束について

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県障害者就労振興センター	HACCP衛生管理研修	R3.6.29	2	
千葉県安全運転管理協会	安全運転管理者講習	R3.6.25	1	
千葉県	虐待防止研修オンライン	R3.11.18	2	
千葉県	DWAT研修	R3.6.16	2	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	12月2日	女子利用者が階段を一段踏み外し転倒。 その際に口からの出血があり旭中央病院、歯科へ通院、その後かかりつけ歯科医にて、治療と歯の矯正治療を行っています。	荷物で手をふさいでしまわないようにカバンをリュック等にする事や、手を空けて階段を昇降する等声をかけ、慌てないで移動する事の注意喚起をしています。	有り	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 カメリアハウス 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

・建て替え後の返済

昨年1月より稼働し始めたカメラアハウス本館は2月より福祉医療機構への返済が始まりました。船橋市からの交付金により返済をすることとなっていますが、償還払いであるため初年度は自己資金からの返済となりました。月に約50万円と事業運営に影響を及ぼすほどの額ではないものの、やはり大きな支出となりました。これに対しての意識を職員間で共有し利用率の向上、各種加算の取得等を意識し収入を減らしてしまうことなく償還給付までの時期を迎えることができました。今後は土地の取得に向けて続けて収入維持、向上への意識を保っていけるよう職員への働きかけをしていきます。

・利用者の増加

昨年度開始時に1名、年度途中で2名の新規利用者を受け入れています。2名の退所があったものの大きな収入の増加が見られました。建て替えがあったので活動スペースとしては無理のないものでしたが各利用者への目の行き届きとしては薄くなってしまっている事実は逃れられません。今後の受け入れに関しては定員変更が必要となる可能性があるため単価減となってしまいます。収入と定員変更の必要性、何より利用者への手厚い支援の確保を鑑みて今後の検討課題としていきます。

・就労継続支援B型事業における平均工賃額の確保

報酬単価を月額平均工賃で評価する就労継続支援B型事業においては就労会計における収入の確保が求められます。コロナ禍において製菓作業はほとんど行うことができず、受注作業が収入のほとんどとなりましたが職員が積極的に仕事を探し、それに利用者さんが答えてくれたことで評価額のラインを守ることができました。

○ 研修及び職員の取り組み

・オンラインを活用した研修への参加

・職員体制大幅変更に対しての柔軟な移行

○ その他

・新型コロナウイルス対応

令和2年度に続き新型コロナウイルスへの対応は継続しなければならない状況でした。

利用者本人、家族、職員等何名かの感染者が出てしまうことがありましたが、1年間で職員各自が身に着けた知識、経験を活用して感染対策を取り続けたことで事業所内のクラスターは抑えることができていました。

外出等のイベントは難しくなってしまいましたが、社会状況を鑑みながらできる範囲でのレジャー的活動を提供してきました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初	1	兼務	12		1		2	
男子常勤	1	兼務	3					4
男子非常勤			1				1	2
(常勤換算)			0.5				0.4	0.9
女子常勤			3					3
女子非常勤			5		1		1	7
(常勤換算)			2.9		0.2		1	4.1
計	1	兼務	12	0	1	0	2	16
(常勤換算)	1		9.4	0	0.2	0	1.4	12
3年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			1					1
女子常勤			1					1
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	2	0	0	0	0	2
(常勤換算)	0	0	2	0	0	0	0	2
4年度当初	1	兼務	15		1		2	
男子常勤	1	兼務	3					4
男子非常勤			2				1	3
(常勤換算)			1.1				0.4	1.5
女子常勤			5					5
(常勤換算)			4.7					4.7
女子非常勤			5		1		1	7
(常勤換算)			2.9		0.2		1	4.1
計	1	兼務	15	0	1	0	2	19
(常勤換算)	1		11.7	0	0.2	0	1.4	14.3

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		28		12		40
3年度当初 契約者数		35		15		50
年度内新規 契約者数		2		0		2
年度内 解約者数		1		0		1
年度末 契約者数		36		15		51

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		421		180		601
年間開所日数		252		252		252
年間延利用者数		7,680		3,042		10,722
定員に対する 利用率(%)		109%		101%		106%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	1	16	5	7	8	37
女子		4	1	4	5	14
計	1	20	6	11	13	51
構成比率(%)	2%	39%	12%	22%	25%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

生活介護

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子		1	1	8	13	4	27	4.7
女子			2	3	2	2	9	4.4
計	0	1	3	11	15	6	36	4.6
構成比率(%)	0.0%	2.7%	8.3%	30.6%	41.7%	16.7%	100.0%	

(4)利用者障害程度(支援)区分

就労継続支援B型

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	2	2	3	3			10	2.7
女子	1	3	1				5	2.0
計	3	5	4	3	0	0	15	2.5
構成比率(%)	20.0%	33.3%	26.7%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	33		4		
女子	11		3		14
計	44	0	7	0	51
構成比率(%)	86%	0%	14%	0%	65

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし
	両親	父のみ	母のみ				
男子利用者	25	3	8	1			
女子利用者	6	2		5	1		
計	31	5	8	6	1	0	0

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	感染症リーダー研修	6月4日	1名	オンライン
NPO法人船橋福祉相談協議会	虐待を起こさない施設に	10月22日	1名	オンライン
NPO法人船橋福祉相談協議会	支援の難しい方への対応	10月28日	1名	オンライン
施設連絡協議会	施設連絡協議会	12月27日	1名	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	4月9日	近隣店舗にて騒動を起こす	本人に強く伝える	有	警察介入
2	5月12日	利用者同士の他害	所在の確認を配慮	無	
3	6月1日	転倒による擦過傷	ポジショニングの確認	無	
4	8月4日	通所時の行方不明	通所方法の変更	有	GH対応
5	11月18日	発作時の転倒	ポジショニングの確認	無	
6	12月16日	外出時不穏時の器物損壊	頓服薬の常備	無	
7	1月31日	不穏時の器物損壊	設備配置変更	無	
8	2月16日	車いすへ移乗時の転倒	ポジショニングの確認	無	
9	2月28日	車内での興奮時の他害	対応の確認	無	
10	3月3日	職員新型コロナ感染	指定期間の自宅療養	有	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 DDホームズ 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

(1) 支援のあり方

一人ひとりの意思が尊重され「自分らしく生きる」ことや、目の前の障害のあるご本人の思いに寄り添い「その人らしい暮らし」を作ることを視点とする。そんな支援の在り方を実践してきました。また、個々の特性や状況を把握し、最も必要と思われるニーズを選択し反映させるために、個別支援計画で具体的に記述し、その都度検証することにも努めてきました。

(2) 安全面について

一般的に生活の場面での事故などは、家屋内(特に水回り)での発生率が高いとされています。移動時に於ける僅かな段差への注意など、建物の構造上の問題においても配慮してきました。しかしながら、ホームによっては怪我の報告を受けています。今後もより安全に配慮し、改善を行っていきたいと思います。

○ 研修及び職員の取り組み

内・外部研修、オンライン研修の参加を行いました。

- ・ 強度行動障害支援者養成基礎研修
- ・ サービス管理責任者更新研修
- ・ DD&のまのまホームズ 合同研修

○ その他

1/23、「こんね」利用者1名が発熱し新型コロナウイルス陽性が判明しました。最終的には、5名の利用者と職員2名が感染、1か月以上を要して終息に至りました。感染力が強く、基本的な手洗い、消毒、換気。利用者様には可能な限りのマスク着用。個別の食事提供や各々の居室で過ごしてもらうなど、接触を避ける形での厳しい支援状況が続きました。

感染前も手洗い消毒等を行ってきましたが、今回の状況を踏まえて、再度、基本に立ち返り、引き続き感染拡大を防ぐ、対策を講じていきたいと思えます。

利用者様の様子等については、ホームでの様子やご家族、日中支援事業所との情報交換を行い、体調の変化等に気を付けてきました。利用者が年齢を重ねるにつれて、健康面については、更なる配慮が必要になってくると考えています。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
3年度当初								
男子常勤	1	1	6					8
男子非常勤			4					4
(常勤換算)			2.8					2.8
女子常勤			0					0
女子非常勤		1	10				2	13
(常勤換算)		0.5	5.1				1	6.6
計	1	2	20	0	0	0	2	25
(常勤換算)	1	1.5	13.9	0	0	0	1	17.4
3年度中 増減								
男子常勤			2					2
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			1					1
女子常勤			0					0
女子非常勤			-1					-1
(常勤換算)			-0.4					-0.4
計	0	0	2	0	0	0	0	2
(常勤換算)	0	0	2.6	0	0	0	0	2.6
4年度当初								
男子常勤	1	1	7					9
男子非常勤			5					5
(常勤換算)			4					4
女子常勤			0					0
女子非常勤			9				2	11
(常勤換算)			4.8				1.6	6.4
計	1	1	21	0	0	0	2	25
(常勤換算)	1	1	15.8	0	0	0	1.6	19.4

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員					34	34
3年度当初契約者数					32	32
年度内新規契約者数					2	2
年度内解約者数					1	1
年度末契約者数					33	33

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					397	397
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					9,826	9,826
定員に対する利用率(%)					79%	79%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		2	3	11	17	33
女子						0
計	0	2	3	11	17	33
構成比率(%)	0%	6%	9%	33%	52%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	2	4	3	7	11	6	33	4.2
女子							0	0.0
計	2	4	3	7	11	6	33	4.2
構成比率(%)	6.1%	12.1%	9.1%	21.2%	33.3%	18.2%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	32		1		33
女子					0
計	32	0	1	0	33
構成比率(%)	97%	0%	3%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	11	1	9	9	1	0	2	33
女子利用者								0
計	11	1	9	9	1	0	2	33

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
DD&のまのま 合同研修	2	11月19日	暮らしを支える福祉制度について

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加 人数	備考
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	令和3年度千葉県サービス管理責任者更新研修	2/8～	3	
生活サポート千葉	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	12/7	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	R3.7.29	通所ホームからホームに帰宅 途中、電車を乗り間違えて、蒲 田駅で駅員に保護された	認知症の疑いもあり、MRI の検査が必要で、家族に相 談をする。	有	
2	R3.8.4	通所ホームからホームに帰宅 途中、電車を乗り間違えて、八 柱駅で下車、近くの交番で保 護された	電車での通所は避けて、事 業所の送迎車を利用する方 向で検討する	有	
3	R3.8.6	通所ホームからホームに帰宅 途中、電車に乗ろうと駅に向 かったが、方向がわからなく なり船橋法典駅近くの交番で 保護される	日中事業所の送迎方法を 検討している	有	本人から、パ トカーに乗り たかったよう な感想を 聞いた

※ 3件とも 同一人物の報告となります

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【のまのまホームズ】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1. 健康管理と感染症予防対策

いくつかのホームにおいて、入居者や職員が新型コロナウイルス感染症を発症しました。原因としては、日中活動先の通所施設からの連鎖的なものと考えられます。入居者職員共に重篤な症状には至りませんでした。たが、共同生活の場ですから、他入居者の生活にも影響が生じました。未だ感染症と向き合う社会状況がつづいていきますので、ホーム内だけでなく、入居者の方がそれぞれご利用されている通所先事業所と連携を図りながら進めたいと思います。また入居者のスムーズなワクチンの接種や、ホーム内での急な対応、また長引く日中支援において、職員間で協力しながら勤務に従事していただきました、職員各位に感謝しております。助けていただきました。ありがとうございます。

2. 勤務体制の見直し

感染症の影響で入居者の方のホーム内での日中支援も長引き、大きな見直しをすることが難しい一年となりました。次年度も引き続き職員共に協議して参りたいと思います。

○ 研修及び職員の取り組み

3. より良い支援とより良い職員間のコミュニケーションの構築

職員の方お一人おひとりが意識化することで、今年度は少しずつまとまり感も伺えました。「お互い様」が成り立つように、それぞれの職員の皆さんが努力していただいたように思います。ありがとうございます。

4. 研修

職員にとって一番の刺激になる外部での研修会・学習会に参加することができませんでした。また継続的に行うことも急な対応に迫られ、できませんでした。次年度はDDホームズと共に計画的な実施を模索したいと思います。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
3年度当初								5
男子常勤	1(兼務)	1	3					1
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			1					4
女子常勤		1	3					12
女子非常勤			11				1	6.1
(常勤換算)			6.1					22
計	1(兼務)	2	18	0	0	0	1	7.1
(常勤換算)	0	0	7.1	0	0	0	0	
3年度中 増減								1
男子常勤			1					1
男子非常勤			1					0.2
(常勤換算)			0.2					0
女子常勤								2
女子非常勤			2					0.4
(常勤換算)			0.4					4
計	0	0	4	0	0	0	0	0.6
(常勤換算)	0	0	0.6	0	0	0	0	
4年度当初								6
男子常勤	1(兼務)	1	4					2
男子非常勤			2					0.7
(常勤換算)			0.7					4
女子常勤		1	3					15
女子非常勤			14				1	7
(常勤換算)			7					27
計	1(兼務)	2	23	0	0	0	1	7.7
(常勤換算)	0	0	7.7	0	0	0	0	

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員					31	31
3年度当初契約者数					31	31
年度内新規契約者数					0	0
年度内解約者数					0	0
年度末契約者数					31	31

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					372	372
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					9,883	9,883
定員に対する利用率(%)					87%	87%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		3	4	7	5	19
女子			1	1	10	12
計	0	3	5	8	15	31
構成比率(%)	0%	10%	16%	26%	48%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子				7	8	4	19	4.8
女子				5	4	3	12	4.8
計				12	12	7	31	4.8
構成比率(%)				38.7%	38.7%	22.6%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	17		2		19
女子	11		1		12
計	28	0	3	0	31
構成比率(%)	90%	0%	10%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	10	3	2	2	1		1	19
女子利用者	4		3	5				12
計	14	3	5	7	1	0	1	31

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
職員研修	支援職	11月19日	午前午後2部制。 GHの仕事について再確認する内容

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県	サービス管理責任者更新研修	2月7日	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	5月3日	入居者怪我	状況の精査、情報共有を行い、再発の防止について会議を行いました。	有り	
2	6月23日	車両破損	状況の確認と再発防止について話し合いを行いました	無し	
3	8月22日	ホーム内備品破損	状況の確認と再発防止について話し合いを行いました	無し	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 野の花 】

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 笹川なずな工房 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1・感染対策の継続

2年目となったコロナ禍での運営となりましたが、館内の徹底消毒 朝、夕の実施をはじめ、送迎時、利用者さんの通所後からの分散待機、作業、分散昼食と継続して実施してきました。
北総育成園との情報の共有、研修や各団体からのコロナ情報、近隣情報と感染対策は職員間で情報を共有し利用者、職員が安心して作業に業務出来るよう取り組んできました。

2・作業について

作業活動は令和2年度 後半より特別支援学校を主とした注文販売にて継続、これに公共機関が少しずつ増え対応できるようになってきました。
「お客様から販売できる？ 買える？」との言葉を頂き通常の店頭販売の形にまで戻ってはいませんが連絡を頂き注文スタイルが定着しての活動となっています。

今年度も東庄町給食にて園児、児童、生徒たちにとマフィン1100個の注文を頂きました。日頃よりこども園、給食センター職員用にと給食のパン注文を頂いている評価と思います。
「可能であれば小学校、中学校も対応して欲しい」と嬉しい言葉も頂いています。日々の作業活動の模索の中ですのでありがたい励みになる言葉です。
「従来のような対面販売にて来てください」との声を頂ける場面も増えました。少しずつ、就労継続支援B型の活動が戻りつつある1年となりました。

生活介護事業については、令和1年度から高齢化重度化に伴い生活介護事業(生活充実班)を展開しています。
「働くこと、生きこと」をモットーに生産活動に重点を置き実践してきた当施設にとって生活充実班の位置付けが曖昧であり、更にコロナ禍の中、活動の制限もありましたが、施設前の休耕地となっていた荒地を無償でお借りし、ブルーベリー畑に開拓。
土壌整備、水田だった土地の為、暗渠排水工事をし、2月ブルーベリーの植栽100本が植えられました。

保護者の同僚である方のお手伝いを得て準備、その管理とお力を得て整備するが出来ました。今後の生育が楽しみになります。
施設周りは職員の創意工夫により環境整備が進んでいますが加えてブルーベリー畑の整備を生活充実班が担当し活動の幅がでて更に工夫した活動の展開が出来ます。

3・設備 整備について

建築設計士さんに現況調査を依頼しました。施設内部において東日本大震災がきっかけで壁紙の割れや通風等による湿度の影響を受けた部が散見するため全館の壁紙張り替え工事を11月に実施しました。

食品の生産活動の場でもあり、お客様の出入りもある当施設ですので、壁紙が張り替えられ、館内が明るく解放的になりました。

外部においては適切に維持管理されているとの事でしたが、外壁腰板回りの補強塗装を5年に一回実施し、10年目で全塗装が有効との指摘を受け、今回は腰回りの補強塗装を職員で実施しました。

日常的に安全に努め、定期的な専門調査を取り入れ維持管理をしていきたいと思います。

また、車両に付いては老朽化が目立っています。令和2年に送迎用として活用する14人マイクロバスをリースで導入していますが、続いて送迎用車両10人乗りのエンジン故障があり修理に多額な費用が掛かることから、リースにて新車導入に切り替えました。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・8年就業した常勤職員の退職により求人探しが続く。
報・連・相を軸に不足を補う職員の結束力が強まりました。
- ・同時に非常勤職員の募集に「地元の施設なので働きたかった」と利用者支援に励んで頂ける仲間が加わりました。
- ・DWAT研修、衛生管理研修、安全運転管理者研修、虐待防止研修等全体に情報共有し理解を深め努めました。
- ・北総育成園の設立と職員像 研修に参加
親の会発足から今に至る経緯を写真と説明で深く知り、施設にて改めて職員へ源流を伝えさせて頂きました。
- ・常に何をやるにもコロナがある事が前提の中
今出来ること、守る時を職員全体で考え実践していくそういう時間を共有してきました。

○ その他

職員配置において 年度途中で笹川なずな工房と野の花の管理者、サービス管理責任者が各々での設置となったことで職員体制に大きな影響が生じました。これにより野の花との協力体制をより強くし共有して運営をしていきます。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
3年度当初								
男子常勤			3					3
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.5					0.5
女子常勤			3					3
女子非常勤			3		1			4
(常勤換算)			1		0.2			1.2
計	0	0	10	0	1	0	0	11
(常勤換算)	0	0	7.5	0	0.2	0	0	7.7
3年度中 増減			-1					
男子常勤	1	1	3					5
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.5					0.5
女子常勤			2					2
女子非常勤			3					3
(常勤換算)			0.9					0.9
計	1	1	9	0	0	0	0	11
(常勤換算)	1	1	6.4	0	0	0	0	8.4
4年度当初								
男子常勤			2					2
男子非常勤			2					2
(常勤換算)			1.2					1.2
女子常勤	1	1	2					4
女子非常勤			6		1			7
(常勤換算)			2.5		0.2			2.7
計	1	1	12	0	1	0	0	15
(常勤換算)	1	1	7.7	0	0.2	0	0	9.9

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		15		20		35
3年度当初 契約者数		12		22		34
年度内新規 契約者数		0		0		0
年度内 解約者数		0		0		0
年度末 契約者数		12		22		34

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		144		264		408
年間開所日数		269		269		538
年間延利用者数		2,644		5,810		8,454
定員に対する 利用率(%)		66%		108%		87%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	4	7	5	1	4	21
女子	0	5	6	2	0	13
計	4	12	11	3	4	34
構成比率(%)	11.7%	35.3%	32.4%	8.8%	11.8%	100.0%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	9	1	3	3	3		19	2.5
女子	4	0	2	5	2		13	3.1
計	13	1	5	8	5	0	32	2.7
構成比率(%)	40.6%	3.2%	15.6%	25.0%	15.6%	0.0%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	0	18	1	2	21
女子	0	13	0	0	13
計	0	31	1	2	34
構成比率(%)	0%	91%	3%	6%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	12	0	6	2	1	0	0	21
女子利用者	10	1	1	0	1	0	0	13
計	22	1	7	2	2	0	0	34

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
工賃査定会議	常勤職員	毎月第二週 土曜日	作業の様子 モニタリング 会議
事業班計画委員会	常勤職員	5月15日	各作業班の今年度の計画 利用者さんの目標と課題
衛生管理研修	常勤職員	5.6.7.8.1.2月	感染対策 食品衛生における留意点 清掃、消毒の確認
虐待防止研修	全職員	12/14. 1/5	虐待防止、身体拘束について

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県障害者就労振興センター	HACCP衛生管理研修	R3.6.29	2	
千葉県安全運転管理協会	安全運転管理者講習	R3.6.25	1	
千葉県	虐待防止研修オンライン	R3.11.18	2	
千葉県	DWAT研修	R3.6.16	2	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	12月2日	女子利用者が階段を一段踏み外し転倒。 その際に口からの出血があり 旭中央病院、歯科へ通院、その後かかりつけ歯科医にて、治療と歯の矯正治療を行っています。	荷物で手をふさいでしまわないようにカバンをリュック等にする事や、手を空けて階段を昇降する等声をかけ、慌てないで移動する事の注意喚起をしています。	有り	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 カメリアハウス 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

・建て替え後の返済

昨年1月より稼働し始めたカメラアハウス本館は2月より福祉医療機構への返済が始まりました。船橋市からの交付金により返済をすることとなっていますが、償還払いであるため初年度は自己資金からの返済となりました。月に約50万円と事業運営に影響を及ぼすほどの額ではないものの、やはり大きな支出となりました。これに対しての意識を職員間で共有し利用率の向上、各種加算の取得等を意識し収入を減らしてしまうことなく償還給付までの時期を迎えることができました。今後は土地の取得に向けて続けて収入維持、向上への意識を保っていけるよう職員への働きかけをしていきます。

・利用者の増加

昨年度開始時に1名、年度途中で2名の新規利用者を受け入れています。2名の退所があったものの大きな収入の増加が見られました。建て替えがあったので活動スペースとしては無理のないものでしたが各利用者への目の行き届きとしては薄くなってしまっている事実は逃れられません。今後の受け入れに関しては定員変更が必要となる可能性があるため単価減となってしまいます。収入と定員変更の必要性、何より利用者への手厚い支援の確保を鑑みて今後の検討課題としていきます。

・就労継続支援B型事業における平均工賃額の確保

報酬単価を月額平均工賃で評価する就労継続支援B型事業においては就労会計における収入の確保が求められます。コロナ禍において製菓作業はほとんど行うことができず、受注作業が収入のほとんどとなりましたが職員が積極的に仕事を探し、それに利用者さんが答えてくれたことで評価額のラインを守ることができました。

○ 研修及び職員の取り組み

・オンラインを活用した研修への参加

・職員体制大幅変更に対しての柔軟な移行

○ その他

・新型コロナウイルス対応

令和2年度に続き新型コロナウイルスへの対応は継続しなければならない状況でした。

利用者本人、家族、職員等何名かの感染者が出てしまうことがありましたが、1年間で職員各自が身に着けた知識、経験を活用して感染対策を取り続けたことで事業所内のクラスターは抑えることができていました。

外出等のイベントは難しくなってしまいましたが、社会状況を鑑みながらできる範囲でのレジャー的活動を提供してきました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初	1	兼務	12		1		2	
男子常勤	1	兼務	3					4
男子非常勤			1				1	2
(常勤換算)			0.5				0.4	0.9
女子常勤			3					3
女子非常勤			5		1		1	7
(常勤換算)			2.9		0.2		1	4.1
計	1	兼務	12	0	1	0	2	16
(常勤換算)	1		9.4	0	0.2	0	1.4	12
3年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			1					1
女子常勤			1					1
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	2	0	0	0	0	2
(常勤換算)	0	0	2	0	0	0	0	2
4年度当初	1	兼務	15		1		2	
男子常勤	1	兼務	3					4
男子非常勤			2				1	3
(常勤換算)			1.1				0.4	1.5
女子常勤			5					5
(常勤換算)			4.7					4.7
女子非常勤			5		1		1	7
(常勤換算)			2.9		0.2		1	4.1
計	1	兼務	15	0	1	0	2	19
(常勤換算)	1		11.7	0	0.2	0	1.4	14.3

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		28		12		40
3年度当初 契約者数		35		15		50
年度内新規 契約者数		2		0		2
年度内 解約者数		1		0		1
年度末 契約者数		36		15		51

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数		421		180		601
年間開所日数		252		252		252
年間延利用者数		7,680		3,042		10,722
定員に対する 利用率(%)		109%		101%		106%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子	1	16	5	7	8	37
女子		4	1	4	5	14
計	1	20	6	11	13	51
構成比率(%)	2%	39%	12%	22%	25%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

生活介護

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子		1	1	8	13	4	27	4.7
女子			2	3	2	2	9	4.4
計	0	1	3	11	15	6	36	4.6
構成比率(%)	0.0%	2.7%	8.3%	30.6%	41.7%	16.7%	100.0%	

(4)利用者障害程度(支援)区分

就労継続支援B型

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	2	2	3	3			10	2.7
女子	1	3	1				5	2.0
計	3	5	4	3	0	0	15	2.5
構成比率(%)	20.0%	33.3%	26.7%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	33		4		
女子	11		3		14
計	44	0	7	0	51
構成比率(%)	86%	0%	14%	0%	65

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし
	両親	父のみ	母のみ				
男子利用者	25	3	8	1			
女子利用者	6	2		5	1		
計	31	5	8	6	1	0	0

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	感染症リーダー研修	6月4日	1名	オンライン
NPO法人船橋福祉相談協議会	虐待を起こさない施設に	10月22日	1名	オンライン
NPO法人船橋福祉相談協議会	支援の難しい方への対応	10月28日	1名	オンライン
施設連絡協議会	施設連絡協議会	12月27日	1名	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	4月9日	近隣店舗にて騒動を起こす	本人に強く伝える	有	警察介入
2	5月12日	利用者同士の他害	所在の確認を配慮	無	
3	6月1日	転倒による擦過傷	ポジショニングの確認	無	
4	8月4日	通所時の行方不明	通所方法の変更	有	GH対応
5	11月18日	発作時の転倒	ポジショニングの確認	無	
6	12月16日	外出時不穏時の器物損壊	頓服薬の常備	無	
7	1月31日	不穏時の器物損壊	設備配置変更	無	
8	2月16日	車いすへ移乗時の転倒	ポジショニングの確認	無	
9	2月28日	車内での興奮時の他害	対応の確認	無	
10	3月3日	職員新型コロナ感染	指定期間の自宅療養	有	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【 DDホームズ 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

(1) 支援のあり方

一人ひとりの意思が尊重され「自分らしく生きる」ことや、目の前の障害のあるご本人の思いに寄り添い「その人らしい暮らし」を作ることを視点とする。そんな支援の在り方を実践してきました。また、個々の特性や状況を把握し、最も必要と思われるニーズを選択し反映させるために、個別支援計画で具体的に記述し、その都度検証することにも努めてきました。

(2) 安全面について

一般的に生活の場面での事故などは、家屋内(特に水回り)での発生率が高いとされています。移動時に於ける僅かな段差への注意など、建物の構造上の問題においても配慮してきました。しかしながら、ホームによっては怪我の報告を受けています。今後もより安全に配慮し、改善を行っていきたいと思います。

○ 研修及び職員の取り組み

内・外部研修、オンライン研修の参加を行いました。

- ・ 強度行動障害支援者養成基礎研修
- ・ サービス管理責任者更新研修
- ・ DD&のまのまホームズ 合同研修

○ その他

1/23、「こんね」利用者1名が発熱し新型コロナウイルス陽性が判明しました。最終的には、5名の利用者と職員2名が感染、1か月以上を要して終息に至りました。

感染力が強く、基本的な手洗い、消毒、換気。利用者様には可能な限りのマスク着用。個別の食事提供や各々の居室で過ごしてもらうなど、接触を避ける形での厳しい支援状況が続きました。

感染前も手洗い消毒等を行ってきましたが、今回の状況を踏まえて、再度、基本に立ち返り、引き続き感染拡大を防ぐ、対策を講じていきたいと思えます。

利用者様の様子等については、ホームでの様子やご家族、日中支援事業所との情報交換を行い、体調の変化等に気を付けてきました。利用者が年齢を重ねるにつれて、健康面については、更なる配慮が必要になってくると考えています。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他 (運転手等)	計
3年度当初								
男子常勤	1	1	6					8
男子非常勤			4					4
(常勤換算)			2.8					2.8
女子常勤			0					0
女子非常勤		1	10				2	13
(常勤換算)		0.5	5.1				1	6.6
計	1	2	20	0	0	0	2	25
(常勤換算)	1	1.5	13.9	0	0	0	1	17.4
3年度中 増減								
男子常勤			2					2
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			1					1
女子常勤			0					0
女子非常勤			-1					-1
(常勤換算)			-0.4					-0.4
計	0	0	2	0	0	0	0	2
(常勤換算)	0	0	2.6	0	0	0	0	2.6
4年度当初								
男子常勤	1	1	7					9
男子非常勤			5					5
(常勤換算)			4					4
女子常勤			0					0
女子非常勤			9				2	11
(常勤換算)			4.8				1.6	6.4
計	1	1	21	0	0	0	2	25
(常勤換算)	1	1	15.8	0	0	0	1.6	19.4

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員					34	34
3年度当初 契約者数					32	32
年度内新規 契約者数					2	2
年度内 解約者数					1	1
年度末 契約者数					33	33

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					397	397
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					9,826	9,826
定員に対する 利用率(%)					79%	79%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		2	3	11	17	33
女子						0
計	0	2	3	11	17	33
構成比率(%)	0%	6%	9%	33%	52%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	2	4	3	7	11	6	33	4.2
女子							0	0.0
計	2	4	3	7	11	6	33	4.2
構成比率(%)	6.1%	12.1%	9.1%	21.2%	33.3%	18.2%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	32		1		33
女子					0
計	32	0	1	0	33
構成比率(%)	97%	0%	3%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	11	1	9	9	1	0	2	33
女子利用者								0
計	11	1	9	9	1	0	2	33

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
DD&のまのま 合同研修	2	11月19日	暮らしを支える福祉制度について

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加 人数	備考
千葉県健康福祉部障害福祉事業課	令和3年度千葉県サービス管理責任者更新研修	2/8～	3	
生活サポート千葉	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	12/7	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	R3.7.29	通所ホームからホームに帰宅 途中、電車を乗り間違えて、蒲 田駅で駅員に保護された	認知症の疑いもあり、MRI の検査が必要で、家族に相 談をする。	有	
2	R3.8.4	通所ホームからホームに帰宅 途中、電車を乗り間違えて、八 柱駅で下車、近くの交番で保 護された	電車での通所は避けて、事 業所の送迎車を利用する方 向で検討する	有	
3	R3.8.6	通所ホームからホームに帰宅 途中、電車に乗ろうと駅に向 かったが、方向がわからなく なり船橋法典駅近くの交番で 保護される	日中事業所の送迎方法を 検討している	有	本人から、パ トカーに乗り たかったよ うな感想を 聞いた

※ 3件とも 同一人物の報告となります

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版
事業所名【のまのまホームズ】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

1. 健康管理と感染症予防対策

いくつかのホームにおいて、入居者や職員が新型コロナウイルス感染症を発症しました。原因としては、日中活動先の通所施設からの連鎖的なものと考えられます。入居者職員共に重篤な症状には至りませんでした。共同生活の場ですから、他入居者の生活にも影響が生じました。未だ感染症と向き合う社会状況がつづいていきますので、ホーム内だけでなく、入居者の方がそれぞれご利用されている通所先事業所と連携を図りながら進めたいと思います。

また入居者のスムーズなワクチンの接種や、ホーム内での急な対応、また長引く日中支援において、職員間で協力しながら勤務に従事していただきました、職員各位に感謝しております。助けていただきました。ありがとうございます。

2. 勤務体制の見直し

感染症の影響で入居者の方のホーム内での日中支援も長引き、大きな見直しをすることが難しい一年となりました。次年度も引き続き職員共に協議して参りたいと思います。

○ 研修及び職員の取り組み

3. より良い支援とより良い職員間のコミュニケーションの構築

職員の方お一人おひとりが意識化することで、今年度は少しずつまとまり感も伺えました。「お互い様」が成り立つように、それぞれの職員の皆さんが努力していただいたように思います。ありがとうございます。

4. 研修

職員にとって一番の刺激になる外部での研修会・学習会に参加することができませんでした。また継続的にすることも急な対応に追われ、できませんでした。次年度はDDホームズと共に計画的な実施を模索したいと思います。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
3年度当初								
男子常勤	1(兼務)	1	3					5
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			1					1
女子常勤		1	3					4
女子非常勤			11				1	12
(常勤換算)			6.1					6.1
計	1(兼務)	2	18	0	0	0	1	22
(常勤換算)	0	0	7.1	0	0	0	0	7.1
3年度中 増減								
男子常勤			1					1
男子非常勤			1					1
(常勤換算)			0.2					0.2
女子常勤								0
女子非常勤			2					2
(常勤換算)			0.4					0.4
計	0	0	4	0	0	0	0	4
(常勤換算)	0	0	0.6	0	0	0	0	0.6
4年度当初								
男子常勤	1(兼務)	1	4					6
男子非常勤			2					2
(常勤換算)			0.7					0.7
女子常勤		1	3					4
女子非常勤			14				1	15
(常勤換算)			7					7
計	1(兼務)	2	23	0	0	0	1	27
(常勤換算)	0	0	7.7	0	0	0	0	7.7

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員					31	31
3年度当初 契約者数					31	31
年度内新規 契約者数					0	0
年度内 解約者数					0	0
年度末 契約者数					31	31

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					372	372
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					9,883	9,883
定員に対する 利用率(%)					87%	87%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		3	4	7	5	19
女子			1	1	10	12
計	0	3	5	8	15	31
構成比率(%)	0%	10%	16%	26%	48%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子				7	8	4	19	4.8
女子				5	4	3	12	4.8
計				12	12	7	31	4.8
構成比率(%)				38.7%	38.7%	22.6%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子	17		2		19
女子	11		1		12
計	28	0	3	0	31
構成比率(%)	90%	0%	10%	0%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	10	3	2	2	1		1	19
女子利用者	4		3	5				12
計	14	3	5	7	1	0	1	31

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
職員研修	支援職	11月19日	午前午後2部制。 GHの仕事について再確認する内容

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県	サービス管理責任者更新研修	2月7日	1	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	5月3日	入居者怪我	状況の精査、情報共有を行い、再発の防止について会議を行いました。	有り	
2	6月23日	車両破損	状況の確認と再発防止について話し合いを行いました	無し	
3	8月22日	ホーム内備品破損	状況の確認と再発防止について話し合いを行いました	無し	

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 野の花 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

令和3年度の野の花の運営は、世話人さん3名、生活支援員1名、管理者・サビ管1名で運営してきました。

コロナ禍での運営ですので「外食に行きましょう」「外泊しましょう」「買い物に行きましょう」等利用者さんの気持ちに応える事が出来ず我慢の日々。その中で職員が休日の昼間に手作り献立を考えてくれ利用者さんの希望に沿ったメニューを提供していただきました。

利用者さんもととても喜んでくれておりました。

「お好み焼き」「豚丼」「パスタ」とどれも好物なので次の日になずな工房の皆さんに自慢している姿もありほほえましい一面でもありました。

日々の生活が制限される点から少しでも体力を維持するためにホーム前の田圃周りをウォーキングしてきましたがホーム内の生活が中心となり体力が落ちてきているように感じます。

これからも体力維持のための運動を利用者さんと一緒になって取り組んでいきます。

また、令和3年度後半は利用者さんの高齢化も顕著になってきました。これから更に高齢化は進む事が考えられますので、日々の利用者さんの状態を記録に残し、対応策等を全員で話し合い統一した支援が出来るようにしていきたいと思えます。

令和4年度は高齢利用者の対応の整理も急務と感じており少しずつ出来る事から始めています。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・虐待防止研修(千葉県主催)研修後 職員へ伝達研修
- ・コロナウィルス感染症対策研修
- ・安全運転管理者伝達研修
- ・休日の昼食作り
- ・体力持続するための運動
- ・通院業務
- ・メンテナンス(外壁塗装、破損個所の修理、環境整備)
- ・買い物代行(Amazon利用)
- ・床屋での散髪(全員対象)

○ その他

・運営の面では年度途中より管理者とサービス管理責任者の設置条件がなずな工房と兼務する事が出来なくなった事で人員配置が変わった事が大きなことでした。

この事では、令和4年度以降笹川なずな工房との協力体制をより強いものにして行きます。

・コロナ禍になる以前は世話人会議を開催し積極的な意見交換の場として会議を開いてきましたが令和2年、3年度と開催する事が出来ておりません。

Withコロナの考え方を少しずつ取り入れ「どのようにすれば開催できるか？」の視点を持って令和4年度は運営してまいりたいと思います。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄 養士	その他 (運転手 等)	計
3年度当初								
男子常勤								0
男子非常勤	1	1						2
(常勤換算)	0.8	1						1.8
女子常勤			1					1
女子非常勤			3					3
(常勤換算)			2.1					2.1
計	1	1	4	0	0	0	0	6
(常勤換算)	0.8	1	3.1	0	0	0	0	4.9
3年度中 増減								
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤	1	1	1					3
女子非常勤			3					3
(常勤換算)	0.6	1	2.1					3.7
計	1	1	4	0	0	0	0	6
(常勤換算)	1.6	2	3.1	0	0	0	0	6.7
4年度当初								
男子常勤	1	1						2
男子非常勤								0
(常勤換算)	0.6	1						1.6
女子常勤			1					1
女子非常勤			3					3
(常勤換算)			2.1					2.1
計	1	1	4	0	0	0	0	6
(常勤換算)	1.6	2	3.1	0	0	0	0	6.7

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員					5	5
3年度当初 契約者数					5	5
年度内新規 契約者数					0	0
年度内 解約者数					0	0
年度末 契約者数					5	5

(2) 利用率

利用事業	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間延契約者数					5	5
年間開所日数					365	365
年間延利用者数					1,825	1,825
定員に対する 利用率(%)	0%	0%	0%	0%	100%	100%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子		1	2		2	5
女子						0
計	0	1	2	0	2	5
構成比率(%)	0%	20%	40%	0%	40%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	0	0	1	1	3	0	5	4.4
女子	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	0	0	1	1	3	0	5	4.4
構成比率(%)	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	100.0%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子		3	1	1	5
女子					0
計	0	3	1	1	5
構成比率(%)	0%	60%	20%	20%	100%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	1		1	2	1			5
女子利用者								0
計	1	0	1	2	1	0	0	5

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	全職員	12/18、1/5	県から全事業所を対象とした虐待防止研修
安全運転研修	全職員	6月25日	安全運転管理者が研修した事を伝達
衛生管理研修	全職員	12月1日	北総育成園にて衛生管理の講習会に参加

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
香取障害者支援センター	香取圏域GH設置者会議	7/5、11/5	2	
香取障害者支援センター	香取圏域GH設置者会議	R4、3/7	1	
千葉県	第13回千葉県障害者GH大会	R4、2、14	1	
香取障害者支援センター	GH連絡協議会研修会	R4、1、26	1	
全国GH学会	GH全国大会オンライン	R3、11、7	2	

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
		今年度事故による通院はありませんでした。			
		大きな事故はありませんでしたが、「ヒヤリハット」の報告はありましたので未然に防ぐ事が出来ていたと思います。			

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 さざんか相談 】

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して （らんぷ相談）

今年度も、コロナ禍ということでモニタリングの際には、ご自宅や事業所等への訪問はできるだけ控え、基本的には電話での対応とさせていただきました。そのため、事業所を訪問した際の加算が取れないという実情がありましたが、3年度から数人の契約者が増えた事、そして何よりも報酬単価が上がった事で2年度よりも少しではありますが増収となりました。

3年度の報酬改定で、相談支援に関しては、基本的な単価が上がったり、事業所加算等の幅が広がりましたが、魔法のランプのような相談支援専門員の人数が少ない事業所においては対象とはならず、厳しい状況には変わりありません。やはり、今後、法人として相談支援事業をどう維持していくのか、魔法のランプの単体で見るのではなく、同じ事業を行っている「のまる」や「とらのこキッズ」とも併せて検討していく必要があると思います。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・今年度は、積極的に研修への参加ができませんでした。
3月に1名の相談支援専門員が現任研修に参加したのみでした。

○ その他

今年度もコロナ禍という事で、ご自宅や事業所への訪問をできるだけ控えたため、電話でのやり取りが中心になり、ご本人ともお会いする機会がかなり少なくなっていました。そのため、感染状況が少し落ち着いた時には、ケースによっては了解を得た上で、訪問させていただくこともありました。

やはり電話でのやり取りだけでは見えにくいこともあり、特に精神的な疾患を抱えていらっしゃる方は、実際にお会いして表情を見ながらお話をしたり、様子を見てその時の状態を把握しておく事が必要になってきます。その結果、ご本人が「大丈夫」と言っていたことが実際には大丈夫ではなかったこともありました。また、コロナ禍のため移動支援、行動援護、短期入所等のサービスの利用の頻度が少なくなりました。

移動支援は親御さんから感染が怖いから暫く利用を控えたいというお話をいただくケースもあり、短期入所については、親御さんが利用を控えたいというケースと事業所側から暫くの期間、利用を断られることもありました。そのような中で、ご本人さんの行動範囲が狭められたり、感染対策等でストレスが溜まる事で、今のところは大きな影響が出ているような方はいませんが、コロナ禍が長くなればなるほど、今後影響がでてしまう事が懸念されます。そうならないようにコロナ禍の中ではありますが、感染状況を見ながらケースによっては可能な範囲で訪問を増やす等して、早めに情報を得て必要な対応ができるように努めていきたいと思っています。

昨年度と同様に他の事業所の相談支援専門員との横の繋がりも殆どなくなってしまう、情報の交換や共有ができない状況が続いています。感染状況が落ち着いていた昨年12月に一度だけ市内の各事業所の相談支援専門員が集まって話をする「いろりの会」を開催しましたが、久しぶりの開催だった事もありとても好評で、情報の交換や共有の場となりました。今後も感染状況を見ながらにはなりますが、契約者の方やご家族の不安が少しでも軽減できるように、また相談支援専門員のスキルアップに繋がられる事ができるような事を模索して行きたいと思っています。

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して （のまる 相談）

*取り組み

相談支援利用者人数は20名

サービス利用計画書の作成、モニタリング、関係機関(家族・事業所・行政)との連絡調整

*評価

今年度も引き続き、コロナ禍における感染症予防対策を考慮し、ご利用者様・ご家族様と相談の上、利用者自宅や事業所訪問を控えたケースが多くありました。代わりに電話やe-mailを活用し要望や利用状況の確認など対応させていただきました。

*今後の課題

- ・会議(情報共有や事例検討会)を実施していきます。
- ・研修に参加し相談技術の向上に努めます。
- ・社会資源の把握に努め、様々なニーズへ迅速に対応します。

○ 研修及び職員の取り組み

*今年度は千葉県相談支援従事者現任研修の受講にて、相談支援技術の向上に努めています。また、船橋障害者相談支援事業所連絡協議会に出席し相談支援をとりまく環境の変化などの情報共有を行いました。

○ その他

・コロナウイルス感染症は、様々な支援や相談対応に影響し契約者様も不安を感じてると考えられます。少しでも不安を解消できるように、迅速な対応やコミュニケーションに努めて参ります。

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して （とらのこ相談）

1.新型コロナウイルス感染症感染拡大の社会状況に相談支援事業において、感染予防の観点から直接的な事業所訪問の機会は激変しました。またモニタリングにおいても、殆どお子さんについてが、保護者の方のご同意のもと、受給者証更新時1回となりました。しかしながら、お子さんがご利用されている大半の事業所との連絡や情報共有については、電話でスムーズに行える下地を作ってきましたので、モニタリングや更新時期に限らず、やり取りを行なえています。2. 今後の運営について、現在契約者数が100名程度(全員が児童期。未就学のお子さんとの契約者は0となりました。)ですが、法人内での障害児童相談支援の相談員の担い手の課題がありますので、保護者の方の同意の元に、今年度中に30%程度の事業規模を縮小し、他事業所への契約移行を進めていきます。

○ 研修及び職員の取り組み

感染症感染拡大予防のため、外部研修(見学を含めて)は控えていました。

令和 3年度
社会福祉法人さざんか会
事業報告統一版

事業所名【 魔法のランプ 】
〔居宅介護部門〕

1. 令和3年度事業活動重点事項及び成果

○ 運営面に関して

(1)赤字運営解消

- 緊急事態宣言が明けた後は、サービスを千葉県外に出ない(千葉県内のみ)サービスに徹して外出支援を実施しています。
- 各事業については、感染症拡大防止の予防対策をしっかりとした上で実施しています。しかしながら、サービスをキャンセルされる方や時間短縮をされる方が多く見られました。
- このコロナウィルス感染症拡大の影響で、サービス量がかなり落ち込んでしまいました。
- 利用者様においては、マスク若しくはフェースガード着用等が出来ない方に つきましては、サービスのお断りをせざる得ないケースがありました。
- 登録ヘルパーにおいては、2名ほどサービスに入って頂けない方や緊急事態宣言時には活動を自粛されるヘルパーさんもありました。
- スタッフの空白時間については、平日の日中サービスも入ってくるようになっていきます。また土、日、祝日等のサービス時の利用を短時間で抑えて頂くようお願いをして、協力をして頂いています。

(2)成果について

- ✕今年度は、コロナウィルス感染症拡大の影響で、全体的にサービス量が落ち込み、またヘルパーにおいても増員できなかったこともあり、運営難となってしまいました。

○ 研修及び職員の取り組み

- ・ 内部及び、外部研修等、実施して^{ひま}おりませんでした。
- ・ ヘルパーの育成研修等も実施しておりませんでした。
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

○ その他

運営面において、赤字経営が続き、法規定の常勤換算2.5人以上の人員を配置することが困難な状況となった為、令和3年9月30日を以て、当面の間、事業の休止となりました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 保育士 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士・事務員	その他 (運転手等)	計
3年度当初								
男子常勤	1	1	2					4
男子非常勤							1	1
(常勤換算)							0.1	0.1
女子常勤			1					1
女子非常勤						1	7	8
(常勤換算)						0.4	1.1	1.5
計	1	1	3	0	0	1	8	14
(常勤換算)	1	1	3	0	0	0.4	1.2	6.6
3年度中 増減								
男子常勤	-1	-1	-2					-4
男子非常勤							-1	-1
(常勤換算)							-0.1	-0.1
女子常勤			-1					-1
女子非常勤						-1	-7	-8
(常勤換算)						-0.4	-1.1	-1.5
計	-1	-1	-3	0	0	-1	-8	-14
(常勤換算)	-1	-1	-3	0	0	-0.4	-1.2	-6.6
4年度当初								
男子常勤								0
男子非常勤								0
(常勤換算)								0
女子常勤								0
女子非常勤								0
(常勤換算)								0
計	0	0	0	0	0	0	0	0
(常勤換算)	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を別記する

2. 施設等利用者の状況

(1) 契約者数

利用事業	居宅介護	重度訪問 介護	行動援護	同行援護	移動支援	合計
定 員	48	8	26	4	157	243
3年度当初 契約者数	48	8	26	4	157	243
年度内新規 契約者数	0	0	0	0	0	0
年度内 解約者数						0
年度末 契約者数						0

(2) 利用率

利用事業	居宅介護	重度訪問 介護	行動援護	同行援護	移動支援	合計
年間延契約者数	48	8	26	4	157	243
年間開所日数	183	183	183	183	183	915
年間延利用者数	58	5	91	5	254	413
定員に対する 利用率(%)	1%	0%	2%	1%	1%	0%

(3) 利用者年齢区分(令和4年3月31日現在)

年齢区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合計
男子						0
女子						0
計	0	0	0	0	0	0
構成比率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%

(4)利用者障害程度(支援)区分

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均区分
男子	0	0	3	9	17	19	48	5.1
女子	0	1	1	2	4	7	15	5.0
計	0	1	4	11	21	26	63	5.1
構成比率(%)	0%	2%	6%	17%	33%	41%	100%	

(5)援護市町村区分(令和4年3月31日時点)

市町村	船橋市	東庄町・銚子市・ 香取市・旭市	県内地	県外	合計
男子					0
女子					0
計	0	0	0	0	0
構成比率(%)	0%	0%	0%	0%	0%

3. 保護者の状況

保護者	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身よりなし	合計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	76	4	24	5	1		4	114
女子利用者	18	2	16	1				37
計	94	6	40	6	1	0	4	151

4・ 職員研修について

(ア) 法人及び事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容

(イ) 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考

5・ 事故の発生について * 報告事項

No.	発生年月日	事故内容	今後の対応	行政への 届け出	備考
1	7月21日	送迎先の間違い	確認メールの再度確認を徹底する。	×	